



広島広域都市圏協議会（全33市町）									
会長	広島市長	松井一実	会員	世羅町長	奥田正和				
会員	呉市長	新原芳明	〃	岩国市長	福田良彦				
〃	竹原市長	今榮敏彦	〃	柳井市長	井原健太郎				
〃	三原市長	岡田吉弘	〃	周防大島町長	藤本淨孝				
〃	三次市長	福岡誠志	〃	和木町長	坂本啓三				
〃	大竹市長	入山欣郎	〃	上関町長	西哲夫				
〃	東広島市長	高垣廣徳	〃	田布施町長	東浩二				
〃	廿日市市長	松本太郎	〃	平生町長	浅本邦裕				
〃	安芸高田市長	藤本悦志	〃	浜田市長	三浦大紀				
〃	江田島市長	土手三生	〃	出雲市長	飯塚俊之				
〃	府中町長	寺尾光司	〃	益田市長	山本浩章				
〃	海田町長	竹野内啓佑	〃	飯南町長	塚原隆昭				
〃	熊野町長	三村裕史	〃	川本町長	野坂一弥				
〃	坂町長	吉田隆行	〃	美郷町長	嘉戸隆				
〃	安芸太田町長	橋本博明	〃	邑南町長	大屋光宏				
〃	北広島町長	箕野博司	〃	吉賀町	岩本一巳				
〃	大崎上島町長	谷川正芳							

国道54号改築促進広島県期成同盟会									
会長	広島市長	松井一実							
副会長	安芸高田市長	藤本悦志							
監事	三次市長	福岡誠志							
会員	広島市議会議長	八條範彦							
〃	安芸高田市議会議長	石飛慶久							
〃	三次市議会議長	山村恵美子							
〃	(一社)中国経済連合会会長	芦谷茂							
〃	広島商工会議所会頭	松藤研介							
〃	三次商工会議所会頭	佐藤明寛							
〃	安芸高田市商工会会長	住吉峰男							
〃	広島経済同友会代表幹事	小田宏史							
〃	広島県経営者協会会長	西川正洋							

# 一般国道54号 改築促進に関する要望書



国道54号改築促進広島県期成同盟会  
広島広域都市圏協議会



全国的に人口減少・少子高齢化社会が到来する中にあって、広島広域都市圏における圏域経済の活性化と圏域内人口200万人超の維持を目指す「200万人広島都市圏構想」の実現のためには、基盤となる圏域内の広域幹線道路ネットワークの充実・強化が重要であると考えています。

一般国道54号は、山陽と山陰を結び、広島県北部と南部の地域交流・賑わい創出にも寄与する重要な路線ですが、沿線地域の交通需要の増加に伴う慢性的な交通渋滞が発生しています。

中でも、広島市北部地域の混雑を緩和する可部バイパスの整備は喫緊の課題となっており、現在整備中の大林地区については、可部バイパスを上根バイパスに接続することにより一般国道183号と交差する下浜ヶ谷交差点における交通混雑が解消されるとともに、並行する河川の氾濫など災害への脆弱性に課題のある現道区間を避けることができる上、安芸高田市方面から令和4年5月に開業した北部医療センター安佐市民病院へのアクセスも向上するなど、更なる都市圏の活性化に資するものと考えています。

加えて、災害時のリダンダンシーの強化を始め、安全性や時間信頼性の向上などの観点から、全線4車線化を進めることが重要であると考えています。

一方、安芸高田市管内においては、通学路に歩道が整備されていない箇所や狭小な歩道が残っているなど、交通事故の危険性が高い箇所が多く存在しており、交通安全対策事業の推進が不可欠なものとなっています。

また、三次市管内では、赤名トンネルを含む急勾配区間において、大雪時にスタックの発生や令和3年8月豪雨などに伴う道路冠水による通行止めが発生しており、防災・減災対策事業の推進が不可欠なものとなっています。

今後とも、地元経済界と関係自治体が総力を結集し、強固な連携のもと事業が円滑に進むよう取り組んでまいりますので、国におかれましては、**下記**の**一般国道54号の更なる改築**を図られるよう、よろしくお願いいたします。

## 記

- 可部バイパスの建設推進(広島市管内)
  - 大林地区(上根バイパスとの接続区間)の事業を推進すること
  - 国道191号以北の全線4車線化を図ること
- 交通安全対策事業の推進(安芸高田市管内)
- 防災・減災対策事業の推進(三次市管内)
  - 横谷地区の急勾配区間の解消によるダブルネットワーク機能を強化すること
  - 船所地区の道路冠水箇所を解消すること

令和7年11月14日

国道54号改築促進広島県期成同盟会  
会長 広島市長 松井一實

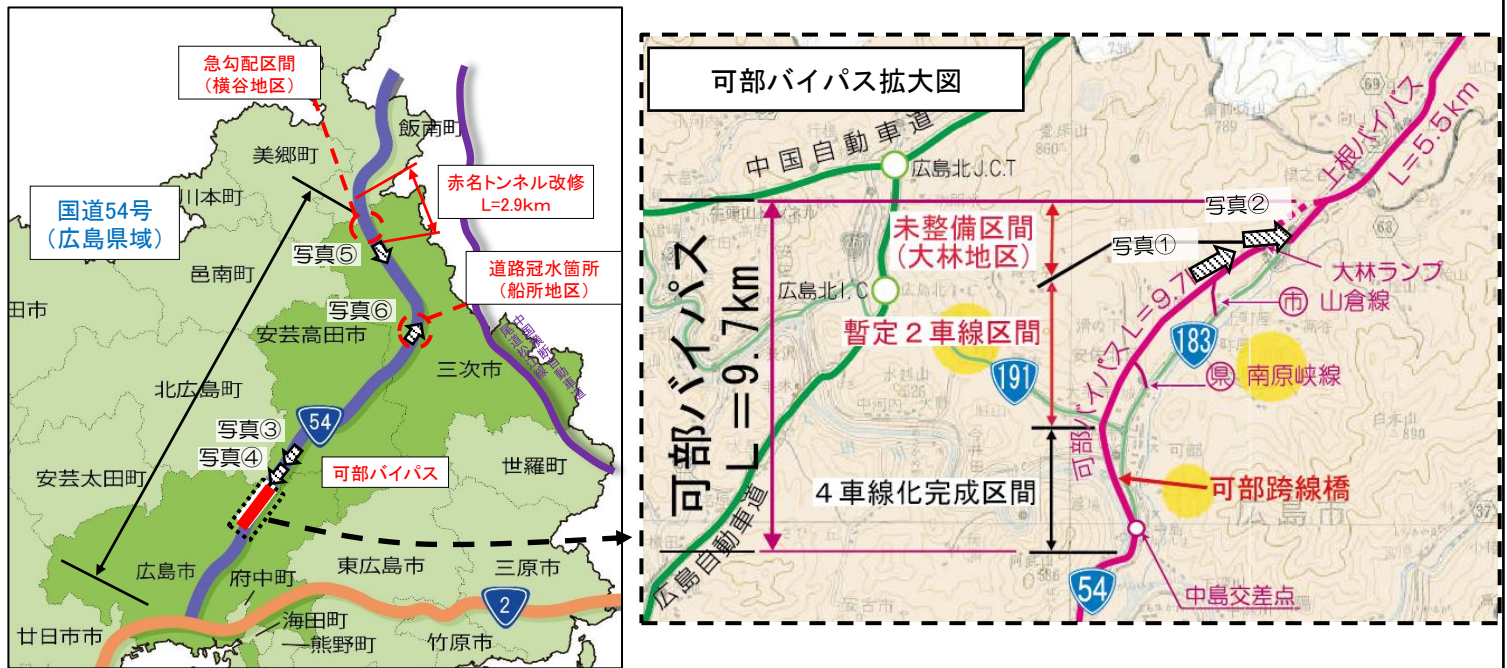
広島広域都市圏協議会  
会長 広島市長 松井一實



## 要望内容

- 1 可部バイパスの建設推進
- 2 交通安全対策事業の推進
- 3 防災・減災対策事業の推進

- 可部バイパスの建設推進(広島市管内)
  - 国道54号では、沿線地域の交通需要の増加に伴う慢性的な交通渋滞が発生(写真①②)。
  - 中でも、広島市北部地域の混雑を緩和する可部バイパスの整備は喫緊の課題
- 交通安全対策事業の推進(安芸高田市管内)
  - 通学路に歩道が整備されていない箇所や狭小な歩道が残っているなど、交通事故の危険性が高い箇所が多く存在(写真③④)。
- 防災・減災対策事業の推進(三次市管内)
  - 赤名トンネルを含む急勾配区間においては、大雪時にスタックが発生(写真⑤)。
  - 令和3年8月豪雨などにより、一級河川江の川が増水したことに伴う道路冠水による通行止めが発生(写真⑥)。



①可部バイパス下浜ヶ谷付近の渋滞状況  
(三次市方面に向かって渋滞)



②可部街道下浜ヶ谷付近の渋滞状況  
(広島市街地方面に向かって渋滞)



③安芸高田市八千代町勝田付近  
(広島市街地方面を望む)



④安芸高田市八千代町下根付近  
(広島市街地方面を望む)



⑤三次市横谷地区のスタック発生状況  
(令和5年12月22日撮影)



⑥三次市船所地区の道路冠水状況  
(令和3年8月13日撮影)

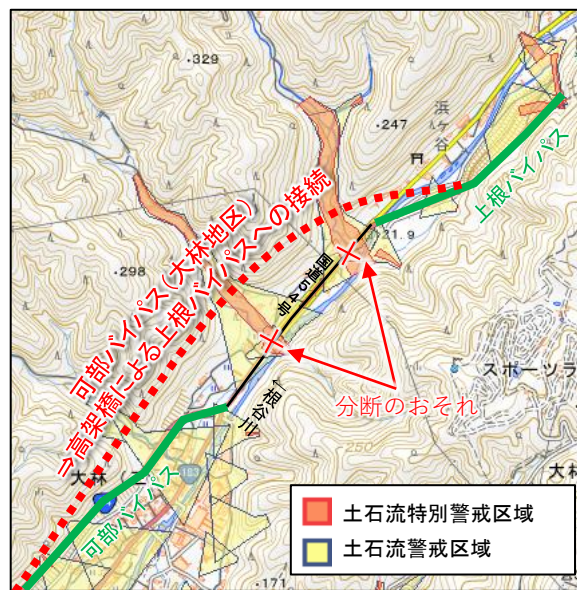


## 〈整備効果①〉広島県北部地域における災害に強い道路ネットワークの形成

- ・国道54号は、**広島県北部地域において「災害に強い道路ネットワーク」を形成**するとともに、平常時・災害時を問わない安定的な輸送の確保に資する「重要物流道路」に指定
- ・大林地区の現道区間は、平成26年8月豪雨で並行する根谷川の氾濫により通行止めとなったほか、当該区間に土石流特別警戒区域に指定された範囲が含まれるなど、頻発する災害への脆弱性が課題  
⇒大林地区の整備により、**災害時の救急車両の通行や緊急物資運搬のための更なる機能強化に貢献**



写真:平成26年8月20日豪雨災害時の  
国道54号の(下浜ヶ谷交差点付近)浸水状況



大林地区における土石流警戒区域等の分布

## 〈整備効果②〉広島県北部地域における広域的な医療体制の強化

- ・可部バイパスの整備により、**安芸高田市～広島市のアクセスが向上し、広域的な医療体制が強化**

